

小学校の実践事例

園・校種	小学校
対象学年	学校保健委員会

単元名 題材名 (教科等) テーマ	学校職員以外による校内外の安全点検
-------------------------	-------------------

《ねらい・目的》

学校職員以外の方に、校内外の安全点検をしていただくことによって、違った視点で危険箇所等がないか点検してもらう。

●事前準備

使用している安全点検表の準備 パワーポイントの作成

●参考文献

学校園安全管理マニュアル(平成23年2月篠山市教育委員会)

●連携関係機関

学校医 学校歯科医 保護者3名

《展開例(指導・研修の流れ、時間配分等)》

時間	指導(研修)内容	留意点/ポイント
5分	○学校保健委員会で、学校内外の安全についての取り組みや点検方法について、パワーポイントを用いて説明する。 (安全担当より)	・転落防止のために行っている対策について説明する。
25分	○学校職員・学校医・学校歯科医・保護者3名で校内外の安全点検を行う。	・安全点検のポイントや項目を説明しながら点検する。
10分	○校内外の危険物・危険箇所等について交流する。 ○安全点検の方法等について交流する。 ・児童の安全意識を高める ・「上らない」などの掲示を増やす	・児童の安全確保についての視点で交流する。 ・学校園安全管理マニュアルを参照する。
10分	○後日、職員会議で報告・交流する。	・職員以外の方による安全点検についての感想や意見を全職員で共有する。 ・今後の安全点検に生かす。

学校の実践事例

園・校種	小・中・特別支援学校
対象学年	職員

単元名 題材名 (教科等) テーマ	『校内安全マップづくり』 (校内研修)
-------------------------	---------------------

《ねらい・目的》

子どもの安全を守るという視点に立ち、全職員で校舎内外の施設設備等を点検し、安全マップづくりを行うことで職員の安全意識の高揚を図る。


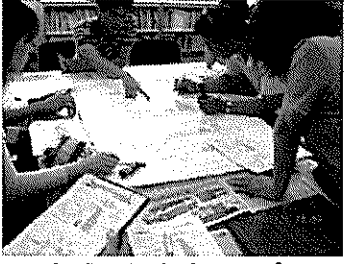

●事前準備

校舎地図を人数分と、それを模造紙に拡大したものを班の数だけ用意しておく。

●参考文献

学校園安全管理マニュアル(平成23年2月篠山市教育委員会)P83～

《展開例(指導の流れ、時間配分等)》

時間	指導内容	留意点/ポイント
10分	○ 日程・趣旨説明	
25分	○ 班別に校内巡視(一人一人校舎地図への書き込み) 	・危険箇所や注意を要するところと消火器、消火栓、担架、自家発電機等の位置も含めて書き込む。
30分	○ 班毎に模造紙の校舎地図への書き込み作業を行う。 	・班毎に各自の情報を交流し、模造紙に記入する。
15分	○ 班毎に完成した安全マップの発表と評価をする。 	・互いに意見や感想、評価、助言等を行う。
10分	○ まとめをする。	・学校長が講評を行う。 ・各自感想等を書き、今後の実践や改善に向けての資料とする。

小学校の実践事例

園・校種	小学校
対象学年	職員

単元名 題材名 (教科等) テーマ	想定される危険と対策について(職員研修・作業)
-------------------------	-------------------------

《ねらい・目的》

- 1. 安全資料から子どもたちの学校生活をふり返り、危険箇所と対策を考える。
- 2. 危険防止のための計画を立て、作業する。

●事前準備

学校安全資料DVD『生徒を事件・事故災害から守るためにできることは』
(平成22年3月文部科学省)

《展開例(指導・研修の流れ、時間配分等)》

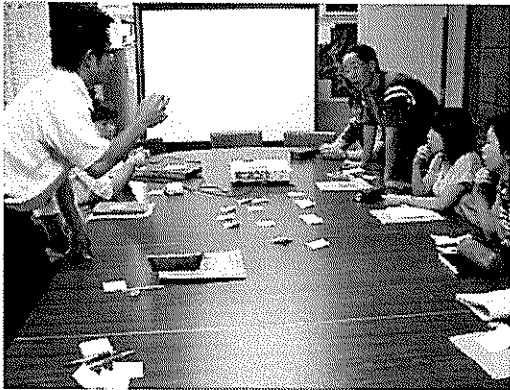
時間	指導(研修)内容	留意点/ポイント
10分	○日程・趣旨説明	
20分	○DVD「生徒を事件・事故災害から守るためにできることは」を視聴する。	・昨年度視聴した項目も再度見ることにより再確認する。
30分	○DVDを参考にして、本校での危険箇所と対策について話し合う。	・①教室や廊下 ②運動場やピオトープ ③体育館 ④その他の場所について ・危険箇所は、毎月の安全点検で特に注意するようにする。
10分	○作業内容を決める。 ①狭い廊下を安全に通行するために ・本館から給食室への渡り廊下 ・給食室から体育館への渡り廊下 ②緊急車駐車スペースの明示のために ・保健室前駐車禁止ゼブラ枠	・センターライン等をひく準備物は、担当で作業日までに準備しておく。
	【職員作業】	
10分	○日程・趣旨説明 ①本館から給食室への渡り廊下 ②給食室から体育館への渡り廊下 ③保健室前駐車禁止ゼブラ枠	・班の決定と作業道具の点検をする。 ・できるだけ、枠型を事前にガムテープで貼っておく。
80分	○作業開始	
10分	○反省をして終了	・完成したことを学校だよりで全戸に知らせる。

【メモ】(実施したあとで成果・課題等を記入し、次の実践に生かしましょう。)

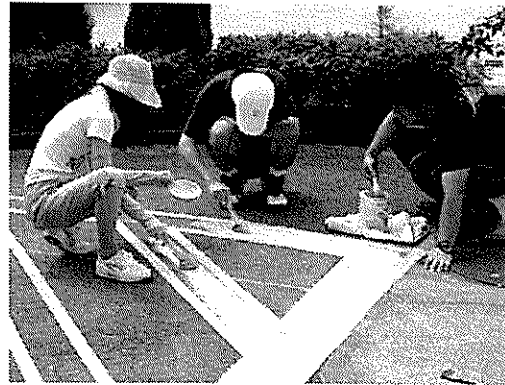
《指導・活動・研修に使ったワークシートや具体物等の教材、資料、写真》

〈研修の記録から〉

- 廊下や教室では
 - 1 右側通行の徹底の声かけをしていく。
 - 2 画鋲は安全点検のときに手で確認して、危なかったら抜いておく。
 - 3 窓際や手すりの箇所へは登れないように物を置いておく。
- 運動場やピオトープでは
 - 1 うんていの上の木は、切る。
 - 2 運動場への階段は、歩くことを徹底させる。
- 体育館では
 - 1 雨の日の体育館の使用は、学年別に割り当てる。
- その他
 - 1 貸し傘は、破損を確認して貸し出す。また、自分の置き傘を置かせる。



危険箇所について研修中



緊急車駐車枠を作成中

学校だより「9月号」の記事から

【『駐車禁止帯』設置】



保健室東側の黄色い枠です。
緊急車両を派遣依頼したときに
基本的にここに駐車します。

学校の実践事例

園・校種	小・中・特別支援学校
対象学年	職員

単元名 題材名 (教科等) テーマ	『校内安全施設等の取り扱い』 (校内研修)
-------------------------	-----------------------

《ねらい・目的》

火災等を想定し、職員一人一人が火災報知器、消火栓、消火器、セコム等の各機器の取り扱いや消防署等への連絡の方法などを身につける。

●事前準備

篠山市消防本部への講師派遣文書

●連携関係機関

篠山市消防本部、セコム株式会社(氷上営業所)

●講師・ゲストティーチャー

篠山市消防本部、本校職員

《展開例(指導の流れ、時間配分等)》

時間	指導内容	留意点/ポイント
5分	○ 日程・趣旨説明	・訓練の意義を理解し、意識の高揚を図る。
45分 (15分毎)	○ 班毎(3班)に実地研修 ・ 火災報知器、セコム、通報訓練 <写真1> ・ 消火器の取り扱い訓練 <写真2> ・ 消火栓(放水)取り扱い訓練 <写真3>	・実際に扱うことで各器具の取り扱いを知る。 ・観察する職員(交代しながら)が、冷静に事後の反省を行う。
10分	○ まとめ(振り返り) ・ 体験後の感想発表 ・ 消防本部より指導・助言 ・ 学校長講評	・感想や注意事項、記録事項を整理し、まとめをしておく。

【メモ】(実施したあとで成果・課題等を記入し、次の実践に生かしましょう。)

《指導・活動に使ったワークシートや具体物等の教材、資料、写真》



<写真1>



<写真2>



<写真3>

学校の実践事例

園・校種	小・中・特別支援学校
対象学年	職員

単元名 題材名 (教科等) テーマ	救急法講習会(校内研修)
-------------------------	--------------

《ねらい・目的》

緊急時への適切な対応及び子どもの安全を守るという視点に立ち、全職員で心肺蘇生・AEDの救急法講習を行う。

●事前準備

滅菌ガーゼ

●参考文献

「とっさの時の救急法」「救急車を上手に使いましょう」(篠山市消防本部HPより)

●連携関係機関

篠山市消防本部

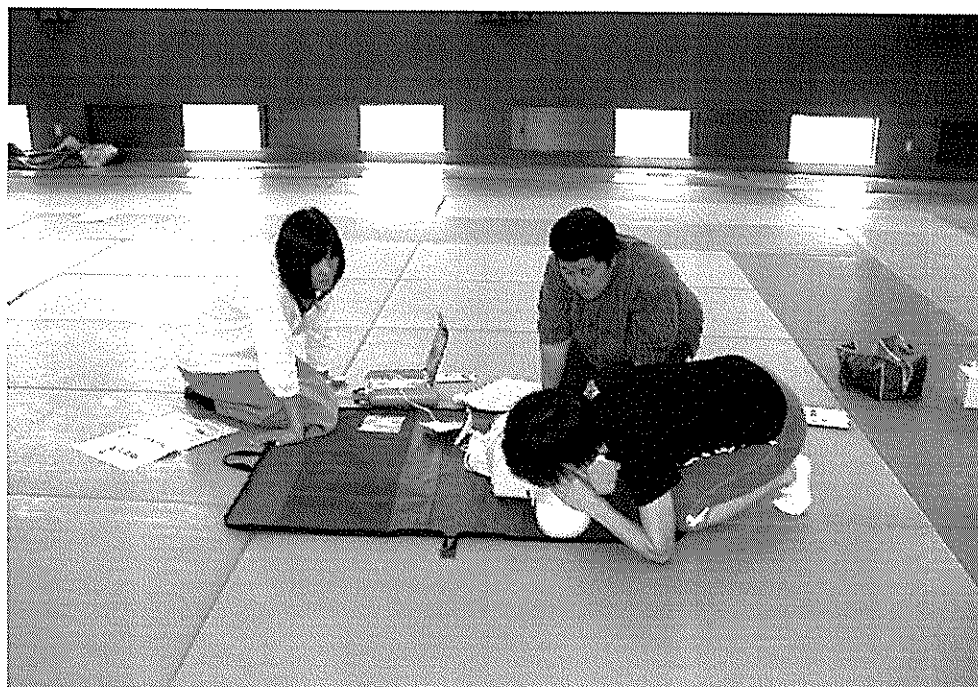
●講師・ゲストティーチャー

篠山市消防本部

《展開例(指導・研修の流れ、時間配分等)》

時間	指導(研修)内容	留意点/ポイント
3分	○日程・趣旨説明	
10分	○救急隊員による心肺蘇生法の説明及びデモンストレーション	・救急車が到着するまでに、具体的にできることは何かを理解する。
20分	○心肺蘇生法の実技練習を行う。	・一人一人がダミー人形を使って、心肺蘇生法を習得する。
10分	○救急隊員によるAEDの使用手順の説明及びデモンストレーション	
20分	○AEDを使って実技練習を行う。	・一人一人がダミー人形を使って、AEDの使い方を習得する。
5分	○救急隊員による運搬法の説明及びデモンストレーション	
5分	○運搬法の実技練習を行う。	・担架を使わなくても運搬できる方法を習得する。
5分	○質疑応答、まとめをする。	

《指導・活動・研修に使ったワークシートや具体物等の教材、資料、写真》



【グループでの心肺蘇生の実習をする職員】

【メモ】(実施したあとで成果・課題等を記入し、次の実践に生かしましょう。)

園・学校の実践事例

園・校種	保、幼、小・中・特別支援学校
対象学年	全職員

単元名 題材名 (教科等) テーマ	ヒヤリハット事例研修
-------------------------	------------

《ねらい・目的》

過去に経験したヒヤリハットの事例を交流することで、事前にヒヤリハットを予防する能力を付ける。

●事前準備

○参加者は事前にヒヤリハット事例を考えておく。

《展開例(指導・研修の流れ、時間配分等)》

時間	指導(研修)内容	留意点/ポイント
5分	○研修の内容、進め方を確認する。	
30分	○職員一人一人が今まで経験したヒヤリハット事例を発表する。	・ヒヤリハット事例ではあるが、実際に起きてしまった事故でも良いこととする。
30分	○発表されたヒヤリハットの事例の中から数例をピックアップし、どうすれば、その事故を防ぐことができたかについて話し合	・実際に事故が起きてしまったときの対応やそのような事故が起きないための手だてを話し合う。
5分	○研修のまとめをする。	

※「ヒヤリハット」とは、日常の指導や行為の中で「ヒヤリ」としたり、「ハッ」とした経験のことを指し、その行為や状態が見過ごされたり、気づかずに実行されたりしたときに、何らかの事故につながる恐れがあるもののこと。

適切な安全対策を講じて事故を未然に防ぐため、ヒヤリハット事案を「ヒヤリハット事例報告書」により市教育委員会に電子メールで提出し、市内の学校園で情報を共有できるようにします。

【メモ】(実施したあとで成果・課題等を記入し、次の実践に生かしましょう。)

ヒヤリハット事例報告書

ヒヤリハットの日時	平成 年 月 日() 時 分
ヒヤリハットの場所 (いずれかに○)	<input type="checkbox"/> 教室・保育室内 <input type="checkbox"/> 特別教室・遊戯室内 <input type="checkbox"/> 廊下 <input type="checkbox"/> 体育館内 <input type="checkbox"/> その他、校舎内() <input type="checkbox"/> 運動場・園庭 <input type="checkbox"/> その他、学校園敷地内() <input type="checkbox"/> 学校園外()
ヒヤリハットの場面 (いずれかに○)	<input type="checkbox"/> 授業・保育 <input type="checkbox"/> 休み時間 <input type="checkbox"/> 給食・そうじ <input type="checkbox"/> 放課後 <input type="checkbox"/> 部活動 <input type="checkbox"/> 登下校 <input type="checkbox"/> その他()
ヒヤリハットの状況	
ヒヤリハットの原因	
今後の対策	

小学校の実践事例

園・校種	小学校
対象学年	職員等

単元名 題材名 (教科等) テーマ	地域学校安全委員会
-------------------------	-----------

《ねらい・目的》

地域の方と協力し、校内の安全体制を整える。

●事前準備

本校の安全点検表

●連携関係機関

地域学校安全委員

《展開例(指導・研修の流れ、時間配分等)》

時間	指導(研修)内容	留意点/ポイント
5分	○委員・本校職員の紹介	
10分	○本校の教育について(校長より) 1 学校教育目標 2 安全安心の学校づくりについて 3 家庭地域との連携について	
5分	○本校の安全教育について(安全教育担当)	
30分	○安全点検	・校内学校安全委員(職員)と地域学校安全委員とが5組に分かれ、点検表をもとに点検する。
10分	○意見交換 1 校内の危険箇所について 2 地域での児童の様子について 他	

【メモ】(実施したあとで成果・課題等を記入し、次の実践に生かしましょう。)

《指導・活動・研修に使ったワークシートや具体物等の教材、資料、写真》

平成23年度 安全点検表(前半)

点検場所 (空 ・ 廊下)		点検者											
点検項目	月 日	4	5	5	6	6	7	7	8	8	9	9	
		15	2	16	1	15	1	15	1	15	1	15	
1	● 窓際に足がかりになる物を設置していないか												
2	● 窓・ガラス・戸に異常はないか(ひび、割れ、くらつき等)												
3	● テラスに異常はないか。(強風登攀・破損・足拭きマット等)												
4	● 手すりにくらつきや破損はないか												
5	◎ 内窓や天井に異常はないか(剥離、亀裂、雨漏り、シミ等)												
6	◎ 網球・器具等に破損はないか(乱いす、PC、放送設備等)												
7	◎ 備品・器具・雑品等の取扱は適切か												
8	○ 床面に異常はないか(滑りやすさ・ゆがみ・破損・浮き等)												
9	○ 出入り口近くに有害な物置いているか												
10	○ 戸鎖・ロッカー・格納庫に異常はないか(整理・破損等)												
11	○ カーテンやカーテンレールに破損はないか												
12	○ 天井の照明器具が破損していないか												
13	○ 天井からの吊り下げ物や棚の上の物が落下する恐れはないか												
14	○ スイッチ・コンセント・インターホン等に異常はないか												
15	○ 換気扇・通気口に異常はないか												
16	○ 掲示板・壁面に異常はないか(釘類等、取り付け部の固定等)												
17	○ 消火器・火災報知器・消火栓・AEDの設置に異常はないか												
18	○ 非常口は確保されているか												
19	○ ストープに異常はないか、設置は適切か												
20													
担当印													
教頭印													
校長印													
安全委員印													

*安全点検は原則として毎月1・15日とする。

*点検は○△×で記入し、不備な点や気付いたことがあれば、下欄に詳しく記入する。

○異常なし △修理可能・改善済み ×異常あり

◎普通点検項目 ○重要点検項目 ○重大点検項目

報告事項内容(取柄・損傷・破損等)

月/日	不備な点	措置日	校長印	教頭印

修理修繕内容

月/日	修理修繕内容	措置日	校長印	教頭印



中学校の実践事例

園・校種	中学校
対象学年	職員

単元名 題材名 テーマ	(教科等) 教職員の危機対応能力の向上を目指して(研修)
-------------------	------------------------------

《ねらい・目的》

- ・学校の安全安心づくりのための取組。
- ・教職員の危機対応能力の育成。

●事前準備

模造紙、ペン、資料

●連携関係機関

兵庫県立教育研修所

●講師・ゲストティーチャー

兵庫県立教育研修所指導主事

《展開例(指導の流れ、時間配分等)》

時間	指導内容	留意点/ポイント
30分	1. 学校での危機管理の意義 ①学校の危機管理とはなにか。 ②学校における危機管理の取り組みについて 2. 学校安全の意義 ①安全教育について ②安全管理について 3. 学校保健安全法における学校安全に関する内容 ①総合的な学校の安全への取り組みについて ②学校保健安全法について	・講義形式で話を聞きながらワークシートに記入していく。
40分	演習・協議1(事例の机上検討) <事例> 体育祭の練習中、「気分が悪い」と数人の生徒から訴えがあった。いずれの生徒も大量の汗をかいており、立っているのもやっとなような状態で、熱中症が疑われている。 ①学校として取るべき対応を考え優先する順番に番号をつけましょう。 ②グループで話し合っって模造紙にまとめましょう。	
40分	演習・協議2(ロールプレイング) <事例> 放課後、ある保護者から、「生徒に声をかけまわっている不審な人物がいる」との電話連絡が入った。A教諭とB教諭が巡視に回ったところ、保護者からの連絡にあった人物とよく似た服装の人物が生徒に声をかけていた。もし、あなたがA教諭なら、不審な人物に対してどのような対応をしますか。 ・教師がグループに分かれA教諭、B教諭、不審人物、生徒と役をきめロールプレイングをする。 ・不審者対応は丁寧な対応をし、刺激しない。 ・適当な距離をとる。 ・生徒の安全を最優先する。 ・相手の人権にも配慮する	・しっかりと役になりきるよう指示をする。
10分	まとめ	